

<p>交流ニュース 第57号 2009年9月</p>	 <p>フレスタ Friendly Star</p>	<p>学園&地域交流ネットワーク 八幡西区北鷹見町13-10 http://friestar.com friestar_news@yahoo.co.jp</p>
------------------------------------	--	---

折尾総合整備事業についての出前講座（北九州市）

8月21日八幡西生涯学習センター折尾分館(オリオンプラザ)において折尾総合整備事業について市の出前講座が行われました。

学園&地域交流ネットワークも参加している「北九州市福祉のまちづくりネットワーク(以下、まちづくりネットワーク)」が折尾駅の改築に伴う利用状況の変更を説明してもらうために要請したものです。地元のことであるため当会からも7名の参加がありました。

市の担当者よりスライドを使って折尾地区総合開発の全体像についての説明がなされました。折尾駅北口へのバス停留所の変更、タクシー乗り場、南側の工事等々です。

しかしながら、この出前講座を計画した一番の目的であった駅北口広場の供用については、土地取得の遅れ等から未だ見込みが立っていないとのことで十分な説明がなされずその後の意見交換の中で参加者から不満の声が出されました。

「まちづくりネットワーク」の方から、駅前広場の変更に伴う駅前広場の様子がわかる図面の提示の要望、これは特に視覚障害の方から出された要望でした。視覚の障害のために、駅前広場の様子をイメージのもとに移動をするため駅前広場の変更に従ってイメージの変更が必要なためです。

また、総合整備事業(駅舎を中心に)のタイムテーブル(予定表)の提示も求めています。変化していく駅の利用についてのあらかじめの情報を得ていたいということです。

さらに、駅南側の工事に伴う鷹見口から仮駅舎(鹿児島本線)・バス停への通路、導線の説明をしてほしいという要望も出されました。当然、鷹見口を利用しバス停へ、ということがありますがその際の通路情報の提供です。

「まちづくりネットワーク」主催ですので、当然のことながらバリアフリーの問題について質問が出されました。駅構内や北口広場の誘導方法や誘導ブロックの敷設、今あるエレベーターはどうなるのか等々です。

駅周辺の利用者、特に障害を持つ人また移動に困難を伴う方たちにとって「工事期間中」とはいえ完成が10年後という長期にわたる利用になるので安全に、また安心して利用できる方策を講じてほしいということも出されました。

折尾総合整備事業について、住民や障害者等の意見を汲み上げた、共につくって行くまちづくりにして欲しいという意見も出されました。

地元団体の「折尾未来21」はもちろんですが、北九州市内全域で福祉のまちづくりに取り組んでいる「まちづくりネットワーク」と意見交換をしながら進めていくことが本当に住民の暮らしやすい街になると思います。特にバリアフリーに関しては実績を持つ「まちづくりネットワーク」との協働が必要ではないでしょうか。

この出前講座の中で明らかになったことは全体像を示すことも大事ではあるが、変更可能な時期に、時期を捉えた細やかな住民・関係者に対する説明・意見交換が必要ではないかということです。

そのことによってより良いまちづくりが行われるのではないのでしょうか。